

全国大学書写書道教育学会 第22回大会（秋田大会）開催要項（第2次案内）

下記の通り、第22回大会を開催します。多数ご参加ください。

- 1、主 催 全国大学書写書道教育学会
- 2、開催大学 秋田大学
- 3、期 日 平成19年10月21日（日）
- 4、会 場 秋田大学教育文化学部 3号館
所在地 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 Tel/Fax 018-889-2669(長沼雅彦研究室)
- 5、参加費 4,000円
- 6、日 程（予定）

10月21日（日）

9:00～ 9:25 受 付

◆研究発表（午前の部）

〈第1分科会〉 3-145教室

9:30～ 9:35 発表と質疑等の案内

司会 樋口咲子(千葉大学)

9:35～10:05 (1-1) 就学前幼稚園児の書字指導に関する一考察

茨城大学大学院 市原 陽子
茨城大学 齋木 久美

10:10～10:40 (1-2) 児童の字形習得過程に関する考察Ⅱ

－鉛筆の持ち方と横画の長さの認識について－

岩手県福岡高等学校 上野 光久

10:55～11:25 (1-3) 汎用性を重視した効果的な小学校国語科書写の指導に関する実践的考察

静岡大学・静岡大学附属静岡小学校 杉崎 哲子

11:30～12:00 (1-4) 書字場面における学習者の「書きまとめる」能力に関する考察

横浜国立大学 青山 浩之
横浜国立大学附属横浜小学校 柳澤ももこ

〈第2分科会〉 3-146教室

9:30～ 9:35 発表と質疑等の案内

司会 玉澤友基(岩手大学)

9:35～10:05 (2-1) 中学生を対象とした書きやすく速く書く力を育成する実践的研究

－動的学習要素のレベル化およびマルチメディア教材等の効果－

上越教育大学附属中学校 清水陽一郎
上越教育大学 押木 秀樹

10:10～10:40 (2-2) 罫に対する漢字と仮名の大きさに関する一考察

－中学校書写教科書による分析を通して－

静岡大学 見城 正訓
名古屋市立大学大学院 杓名健一郎

10:55～11:25 (2-3) 書写教育における授業構成と枠組み設定の研究

東京学芸大学連合大学院 本田 容子

11:30～12:00 (2-4) 書字習慣に関する調査研究(1)－中学生の場合－

長崎大学 鈴木 慶子
長崎大学教務職員 林 朋美
早稲田大学 浜本 純逸

〈第3分科会〉 3-150教室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内

司会 岡村 浩(新潟大学)

9:35～10:05 (3-1) 高等学校芸術科「書道I」における鑑賞指導の一考察
—直感的鑑賞を中心として—

福岡教育大学 和田 圭壮
福岡県須恵高等学校 勝目 浩司
福岡教育大学 服部 一啓

10:10～10:40 (3-2) グローバル化と「書くこと」

東京学芸大学 豊口 和士

10:55～11:25 (3-3) 成人知的障害者の書道活動

—生涯学習としてのプログラム作りの可能性—

かがやき神戸 藤田万里子
千葉大学付属病院 藤田 伸輔

〈第4分科会〉 3-255教室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内

司会 菅野智明(筑波大学)

9:35～10:05 (4-1) 書き方期における「実用」に関する研究

千葉大学大学院 佐藤 瑞穂

10:10～10:40 (4-2) 国定第四期本『高等小学国語書き方手本』以降の鑑賞教材

—国民学校芸能科習字を中心として—

東京学芸大学附属小金井小学校・竹早中学校 清水 文博

10:55～11:25 (4-3) 明治期「習字」教科書(信濃教育会編)にみる地域書写教育史

長野県松本深志高等学校 小林比出代

11:30～12:00 (4-4) 書写教育カリキュラムの構造に関する考察

広島大学 松本 仁志

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～14:00 ◆総会 (詳細は、別紙「総会次第」を参照) 3-145教室

◆提言・シンポジウム「書写・書道教育の現状と課題Ⅱ」 (午後の部) 3-145教室

14:10～14:40 提言「いわゆる『許容される書き方』について考える—高校生の訴えから—」

コーディネーター 宮澤 正明(山梨大学・本学会理事長)

14:50～16:20 シンポジウム「書道教育の実情と今後の展望」

パネラー 後藤 武之(秋田県秋田西高等学校)

海野 優子(宮城県桶谷高等学校)

服部 一啓(福岡教育大学)

コーディネーター 押木 秀樹(上越教育大学・本学会常任理事)

16:25 閉会の辞

7、学会誌への論文掲載

大会における口頭発表を論文として学会誌『書写書道教育研究』に掲載することを希望する場合は、執筆要領(当学会ホームページに掲載)によって応募してください。また、執筆要領によって執筆された投稿論文も受け付けます。応募された論文は、査読を経て掲載の可否が決定されます。送付先、締め切り等の詳細は、ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jacse/> をご覧ください。

全国大学書写書道教育学会・第22回大会（秋田大会）

テーマ「書写・書道教育の現状と課題Ⅱ」

提言・シンポジウム

● 提言 いわゆる「許容される書き方」について考える

—高校生の訴えから— 14:10～14:40

昨年、高校生が、いわゆる「許容される書き方」や筆順などの漢字テストにおける採点基準に疑問を呈したビデオ作品を制作し、話題になりました。文字の正誤に関する問題に加え、書写の立場からは、書くことの目的や場面に応じて書くことに関わる問題として、また速書きなどの書くという動作・行為の問題として、高校生からの投げかけをきっかけとして、かかる課題に再度目をむける機会にしたいと考えます。

コーディネーター 宮澤 正明 全国大学書写書道教育学会理事長

● シンポジウム テーマ「書道教育の実情と今後の展望」

14:50～16:20

昨年の愛知大会では、小・中学校の4人の先生方にご登壇いただき、「書写教育の実情と今後の展望」について述べていただきました。本年度は、高校・大学の先生方にご登壇いただき、高校での芸術科書道の授業の取り組み、その成果や課題をはじめ、高校と大学での連携などの話題を含め、上記のテーマでご発言いただきます。

パネラー 後藤 武之 秋田県立秋田西高等学校教諭
海野 優子 宮城県涌谷高等学校教諭
服部 一啓 福岡教育大学講師

コーディネーター 押木 秀樹 全国大学書写書道教育学会常任理事

日時：平成19年10月21日（日）14:10～16:20

会場：秋田大学教育文化学部 3号館145教室

（秋田市手形学園町1-1 Tel018-889-2669）

主催 全国大学書写書道教育学会

後援 秋田県教育委員会・秋田市教育委員会

★ ご参加をお待ちしています。

*会員以外の方も参加できます。（提言・シンポジウムのみ参加の方は無料）